

〔海況概要〕（令和2年7月23日～7月29日）

今週の本県近海の表面水温は、23～28℃台を示し、やや低めの水温でした。

〔漁況概要〕（令和2年7月23日～7月29日）

- 中小型まき網――シケの日が多く、西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の60%（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり2kgの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり154kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり115kgの水揚げで前週の2.2倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり3.3トンの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島有川町地区では、カンパチなどが1日1統当たり24kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり92kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり605kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり162kgの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり27kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

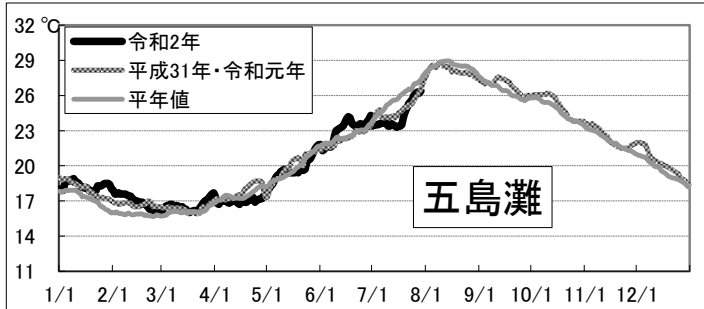
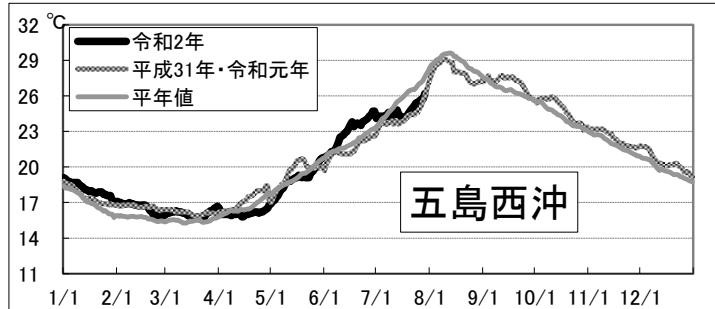
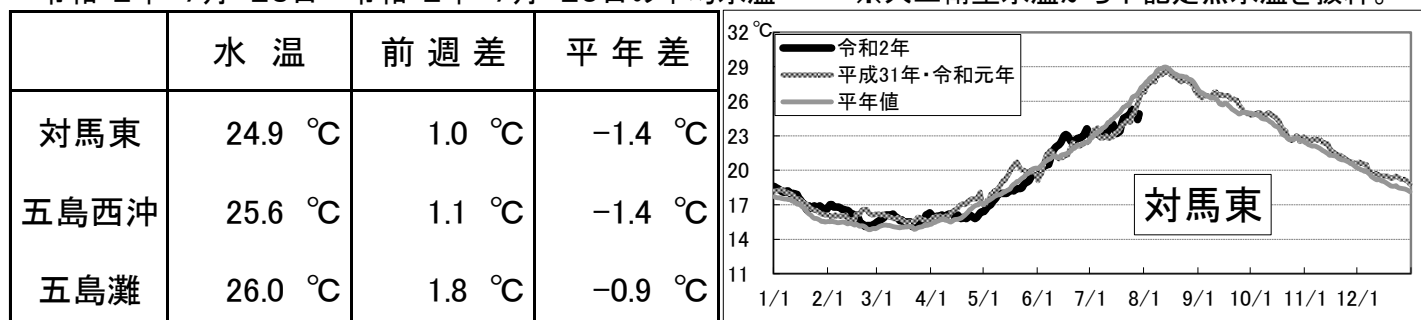
今期（7/23～7/29の7日間）沖合イカ釣り船、船凍船は武蔵礁から能登半島沖～佐渡沖～山形沖に移動。赤イカは北太平洋に出漁。沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島沖～山形沖にかけて出漁した。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。漁場は壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島沖～山形沖に形成された。主漁場は山口沖、隠岐海峡、兵庫沖及び能登半島沖となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔海面水温情報〕 MGSST（人工衛星水温） [気象庁発表] より

令和2年7月23日～令和2年7月29日の平均水温

※人工衛星水温から下記定点水温を抜粋。



〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-18号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を公表しました。長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。 <https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>